

令和7年度 校長より ⑬

昨年度に続き二年連続での受賞となりました。今年度も神奈川県高文連図書専門部会主催の「図書館報コンクール」が実施され、本校図書委員会が作成した図書館報が最優秀となり、教育長賞を受賞いたしました。本校では、これまで令和元年度と2年度に二年連続で受賞したことがありましたので、今回の受賞は2回目の二年連続受賞となります。こうして日頃の生徒たちの活動を高く評価いただくことができたことは、生徒たちが委員会活動に一所懸命に取り組んでいる証であり、また先生方が生徒たちの活動を真剣に支援をしている姿あつてのことであり、他の委員会も含め、普段から教育活動に真剣に取り組んでいる多くの生徒、教職員の皆さんのことを、校長として誇りに思います。生徒の皆さんには、これからも委員会活動のみならずすべての教育活動に全力で取り組んでいてほしいと思います。この度は図書委員会の皆さん、誠におめでとうございます。これからの益々の活躍を期待しています。頑張ってください。

総勢で80名程の合格者が視聴覚室に集合しました。12月16日（火）は、学校推薦型選抜合格者に対する校長講話を行わせていただきました。冒頭、生徒たちに合格のお祝いを述べた後に、合格に至るにお世話になった方々に対して必ず感謝の言葉を伝えるよう諭しました。その後合格者へは、「合格したうえで今、自分自身が置かれている立場はどのようなものか。」「大学入学に向けて大学が今、自分自身に期待していることは何か。」「大学入学後、在籍となった自分自身が背負う責任とは何か。」の3点を説明し、自分自身の現在の心がけや生活状況を振り返り、これから訪れる厳しい現実に向けて自分に確かな志を持ち直し、卒業式に向けてそれを行動や態度で示すよう指導させていただきました。合格発表から入学までの期間の過ごし方そのものが、大学入学後に良いスタートを切れるかどうかにかかっています。生徒たちにはこれからの時間を大切に一日一日をしっかりと過ごして行ってほしいと思います。

令和7年最後の登校日となりました。12月22日（月）は映像配信による全校集会を行いました。私からは、文化祭における生徒たちの取組についての感想、生徒会選挙で決定した新たな生徒会役員に期待すること、進路実現に向けての3年生と1・2年生への激励メッセージ、学習環境を整備してくれている技能員さんへの感謝の心などについてお話させていただきました。来年は十干十二支で「丙午（ひのえ・うま）」となります。情熱や変化を象徴する年でも、生徒たちがしっかりとたくましく育つよう校長として取り組んで参りたいと思います。

令和7年12月

神奈川県立横須賀大津高等学校 校長 幸田 隆